

ネパール子ども病院 20 周年

落語小説「極楽八景亡者戯」ご支援のお願い

AMDA 兵庫 理事長 江口貴博

「阪神淡路大震災の支援へのお礼がしたい。」

そんな被災地からの声が集まり 1998 年 11 月に誕生した AMDA ネパール子ども病院が、今年 11 月に開院 20 年を迎えました。この 20 年の間に 5 万人を超える赤ちゃんが誕生し、乳幼児死亡率が 3 分の 1 に低下するなど、地域に無くてはならない病院となりましたが、継続して病院への支援が必要です。

「開院に命をかけた篠原先生を知ってほしい。」

病院開設に向けて最初に応えたのが、篠原先生でした。そんな彼を悪性リンパ腫という病気が襲います。しかし、残り少ない命を全て病院建設に捧げ、1996 年 11 月、彼はあの世に旅立ちました。

篠原先生を知ってほしいという気持ちで、今回篠原先生を主人公にした「極楽八景亡者戯」をネパール子ども病院 20 周年記念に出版する運びとなりました。小説のモデルとなったのは、桂米朝師匠の十八番「地獄八景亡者戯」です。ネパール子ども病院の 20 年間の出来事をあの世はフィクション、この世はほぼノンフィクションでまとめた奇想天外落語調の物語となっています。

この出版にあたり資金をクラウドファンディングにて、以下のサイトで呼びかけております。是非皆様のお力添えをお願いいたします。何とぞご支援下さいますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

ご支援はこちらまで

クラウドファンディングサイト「Readyfor」

